

豊島支部 NEWS

明治大学校友会豊島区地域支部

会報 第72号 2023年・新春

ホームページ <http://meiji-toshima.com>

フェイスブック <https://www.facebook.com/groups/210709222305133/>

豊島区地域支部2022年総会・懇親会を開催

明けまして、おめでとうございます。本年も、よろしくお願い申し上げます。

令和4年11月5日にIKE・Bizとしま産業振興プラザ6階多目的ホールで豊島区地域支部2022年総会・懇親会を開催しました。豊島区地域支部の三大行事（総会・懇親会、初春交流会、暑気払い）としては、3年ぶりの対面形式での開催となりました。

コロナ禍での開催のため、例年の半分以下の33名のご参加でしたが、東京都北部支部の三森勲支部長様はじめ高木高明板橋区地域支部長様・大関清人北区地域支部長様・佐藤賢治練馬区地域支部長様・野村紀一文京区地域支部長様・濱田豊西東京市地域支部長様・土屋慶子新宿区地域支部長様など、近隣支部からもご参加いただきました。

2022年総会では、会報71号会報でご案内した第1号議案：2021年度事業報告・2021年度収支決算報告・2021年度監査報告、第2号議案：2022年度事業計画・2022年度予算（案）について全会一致でご承認いただきました。また、第3号議案：役員の一部変更（常任幹事1名の追加指名）を報告させていただきました。

懇親会は、着席・個別食事の提供方式として、校友スピーチ（阿部佳乃新任常任幹事、島村高彦副幹事長）や、近隣地域支部長の皆さんからのご挨拶・スピーチをいただきました。例年の賑やかさを抑制した懇親・交流の場であったため、寂しさをお感じになった校友の皆様もいらっしやっただかと思っております、久々の対面形式での交流・親睦機会を設けられたことで、安心かつ嬉しく思っています。

コロナ禍での校友会活動をしばらく続けざるを得ないと思っておりますが、少しでも多くの交流・親睦の機会を創出していきたく思いますので、校友の皆様には、今後ともご理解・ご協力をお願い申し上げます。



明治大学マンドリン倶楽部 OB 会メモオケ第4回定期演奏会を鑑賞

令和4年10月2日、台東区立生涯学習センターミレニアムホールで開催された明治大学マンドリン倶楽部 OB 会メモリアルオーケストラ第4回定期演奏会が開催され、豊島区地域支部関係者12名が鑑賞しました。コロナ禍で練習環境などに困難なことが多かったとのことですが、スペシャルゲストにOBでマンドリン奏者の和智秀樹氏を迎え、コロナ禍のブランクを感じない素晴らしい演奏会でした。



豊島立教会との懇親会を開催

例年、東京六大学野球秋季リーグ明治対立教1回戦の応援後、明治大学校友会豊島区地域支部と豊島立教会との懇親会を開催していますが、3年ぶりに令和4年10月29日に第10回目（当番校：立教）が開催されました。

当日の明立1回戦は、明治の1安打に対し、立教の3安打の投手戦でしたが、明治1点 vs.立教0点で明治が勝利しました。

秋季リーグは、勝ち点4で明治・早稲田・慶応が並びましたが、勝率で上回り明治が優勝し、春秋連覇となりました。懇親会は、明治7名 vs.立教7名の互角の勝負？参加者で、今後とも相互交流の継続とともに、今後の相互健闘を称え合いました。

東京都北部支部主催「秋の散策」への参加

東京都北部支部主催（主管：北区地域支部）の「秋の散策」が開催され、『青梅きもの博物館』や『吉川英治記念館』の見学など、青梅市吉野梅郷周辺の散策に豊島区地域支部から3名が参加しました。

今後、豊島区地域支部としても近隣支部と連携・協働して、校友の皆さんが楽しめる企画・事業を創出したいと思います。



「三浦昭生さんを偲ぶ会」の開催

2004年から2014年の長きにわたり、豊島区地域支部長としてお支えいただいた「三浦昭生さんを偲ぶ会～ありがとう三浦さん、お疲れ様でした。～」が、令和4年10月10日に駿河台キャンパス・アカデミーコモンで、二年に一会（明治中・高同期会）、東京都北部支部三森勲支部長、豊島区地域支部白砂正人名誉支部長が発起人となり開催され、105名の皆様にご参加いただきました。

改めて、三浦昭生さんの豊島区地域支部へのご尽力・ご指導に感謝と御礼を申し上げます。

豊島区地域支部年会費納入のお願い

校友の皆さまには、明治大学校友会豊島区地域支部の事業へのご協力御礼申し上げます。

豊島区地域支部の会報の制作・郵送などの事務費・運営経費については、会員の皆さまからの年会費により運営しています。本会報に同封の振込用紙（振込手数料はかかりません）にて、2022年～2023年の年会費の振込手続きいただければ幸いです。

■豊島区地域支部の活動に関する問い合わせ先：支部長 猪瀬典夫

携帯電話：090-5579-8856 E-mail アドレス：inose@macuass.co.jp

こんにちは。H23年文学部卒業の阿部佳乃です。ご縁があり、この度役員のお役をいただき、筆を執らせていただきます。

私の祖父母は、戦後、製館業を営むため、栃木県佐野市から、旧池袋村（現在、池袋本町）に移住してきました。まだ当時は、麦畑があり、のどかなところだったと、祖父から伝え聞いています。

私自身も地元の旧文成小、池袋中を卒業し、繁華街の池袋のすぐ近くでありながら、昔ながらのあたたかい下町の雰囲気が残る、この地元が大好きです。

幼い頃から、国語教員であった父の影響で、辞書や新聞を読むのが好きで、何か「言葉」で表現することがしたいと思うようになりました。高校時代は、都内にあった演劇科高校に進学し、ミュージカルを専攻していました。劇団四季や宝塚、テーマパークのダンサーなど、プロの道に進む同期や先輩方がたくさんいました。周りのレベルに圧倒され、自分には向いていないかも…と思ったとき、「演劇史」の先生（明治出身）が、「明治には、演劇の歴史や理論学べる専攻があるよ。そこに行きなさい」とポンと背中を押してくれました。毎日、朝練や放課後のレッスンもあり、クラスの雰囲気は、とても大学受験する雰囲気ではありませんでした。稽古終わり、クタクタに疲れながらも、予備校に通い、私には、「六大学に受かる」ことなんて、無理だろうと半分あきらめていましたが、何とか合間を縫って、明治への合格切符を手に入れたことは、本当にうれしくて昨日のように覚えています。

学生時代は、毎日の授業がとても楽しかったです！ピアノサークルやオープンキャンパスのスタッフに参加して、母校愛を深め、大学野球やラグビーの観戦、アルバイトや夏休みには旅行をしたり、いろいろ可能性の道は、幅広いことに気づかされました。そして、3年次に、就職活動は何をしようか迷ったとき、「基礎マスコミ研究会募集！」のメールを目にし、その時…あ！「アナウンサー」になろうと、突然思いつきました（笑）。「アナウンサーだったら、会社員として表現の道で、仕事ができるかも?!」と。

それからは、アナウンサー受験へ没頭。アナウンススクールに入り、全国各地の放送局を約100社以上も受けました。ミスコンや帰国子女、体育会系など華やかな経歴の子が集まる業界。書類だけでも落とされることが多く、面接のために地方に足を運んで落とされ、またまた苦労する日々を送りました。



そして、2011年3月。震災の4日前に、やっと佐渡のケーブルテレビの内定をいただきました。震災の影響で、卒業式はなく、教室で卒業証書を受け取り、そのまま島に旅立ちました。

はじめての一人暮らしが、荒波にもまれ、環境も違う「離島」という、貴重な経験を経て、新潟の民放局アナ、NHKキャスター、全国放送の報道リポーターまでステップアップすることができました。

各地方に住んでいたころは、その地域の校友会におじゃまし、全国に広がる母校のネットワークの広さと懐の深さに感動しました！（笑）

現在は、大好きな地元・豊島区に戻り、フリーアナウンサーとして活動する傍ら、大学講師として留学生に日本語を教えています。コロナ禍

でイベント中止や留学生が入国できず、また苦しい思いもしましたが、やっと世の中が「前へ！」進めていけている気がします。

先日は母校のイベント“ホームカミングデー”の司会を担当しました。明治があるから、今がある。ソメイヨシノのアベヨシノ！豊島区で明治の花を咲かせて行きます。



この度は会報に掲載の機会を頂きまして、ありがとうございます。私は豊島区出身で、一時期埼玉県志木市で暮らしましたが、現在は豊島区駒込に舞い戻り、この原稿を書いております。

明治大学には、県立川越高校という、当時やたらと明大に合格者が多い高校から進学しました。正直、ものすごく懂れて入学したわけではありましたが、自分でも驚いたことに、入学するやいなや大の明治ファンになったのです。卒業後も母校に誇りを持って、ことあるごとに積極的に関わらなくなり、気がつけば還暦を迎え63才となりました。

私の母校愛が目覚めたきっかけのひとつは、何と言ってもスポーツです。入学当時、六大学野球は明早全盛期で、特に巨人軍に入団した鹿取投手は、毎試合連戦連投で奮闘。何度も優勝の美酒を味わわせてくれました。

秋になると、大学ラグビー対抗戦で初めてラグビーというスポーツの醍醐味を味わいました。当時の明治は、ナンバー8の河瀬やフッカー藤田、スタンドオフ砂村、センター小林等、全日本のメンバーを常に3~4人輩出していました。他にもスター選手がゴロゴロいて、ごくたまに授業に来て、サインを求めてキャーキャーと騒ぐ女学生に囲まれて、独特のオーラを放っていました。

そんな選手達の姿を含むラグビーの魅力に魅了され、その後社会人となってから、クラブチームに所属しました。足だけは速かったので、右ウィングやフルバックとして何試合か出場しましたが、あの時の快感は今でも頭の中に強く残っています。

スポーツ以外に学生生活を彩ったのはサークル活動です。高校からの同窓と映画研究部に入部しました。秋の文化祭に向け、同期10人くらいと制作した自主制作映画では、まだデビュー前だった「シュガー」という女の子3人組グループの毛利さんを、主演でデビューさせました。（残念ながら亡くなりました。ご冥福をお祈りします）

学業の方は全く覚えがありませんが、映画研究部の先輩のコネで、のちに学部長となった山田康平教授の管理関係のゼミに入ることができました。試験前になると、数少ない女子大生に突然親しげにノートをコピーさせていただいたものです。まずまずの成績で無事卒業できたのは、最近お亡くなりになりましたが山田先生のおかげと、同窓女学生のノートコピーのおかげです。



2022年10月2日 軽井沢大賀ホールにて

その後社会に出た後も、明治大学の先輩達に恵まれた社会人生活を送り、数年前に無事退職しました。ここ5~6年は、明治大学マンドリンクラブの定期コンサートを中心に母校愛を楽しんでいます。つい最近は軽井沢大賀ホールで行われたマンドリンコンサートを観覧しました。

現在は少し落ち着いたと思われるコロナ禍ではありますが、色々な意味で中々先が読めない時代になっており、野球だ、ラグビーだ、映画作りだと、騒がしく送った昭和時代の学生生活のありがたさを、改めて感じる今日この頃です。

皆様のご健康とご健勝をお祈りし、雑文ながらペンを置きます。オーオー明治♪



テネシー州メンフィス プレスリー邸にて

会報への投稿募集：学生時代の思い出や、「明治魂を伝える」、「お店・会社紹介」など、校友の皆さんの本会報への投稿を募集しています。よろしくお願い申し上げます。